



えんだより R7. 8

プール遊びが始まって約1ヵ月が経ちました。6月のプール開き以降雨の日がほとんどなく、心地よい水の感触を全身で楽しんでいる毎日です。今年の夏も照り付けるような強い日差しがあり、連日熱中症警戒アラートが発表されています。今年も園庭のテントや日除けの数を例年以上に増やして、なるべく日陰の中で外遊びができるように対策をしています。子どもたちは日中、身体をたくさん動かして遊びますので、しっかり遊びこむためにも早寝早起き、栄養のある食事とたっぷりの睡眠を心がけていきたいですね。今日は、たいようぐみが畑で大切に育てたスイカを使って、以上児でスイカ割りをしました。みんなで「みぎ！ひだり！うしろ！！」などと応援し、当たった子も当たらなかった子もみんなが笑顔で楽しむことができました。

8月の予定

- 8日(金) ひかりクリーンデイ
- 13日(火)～15日(木) お盆希望保育 ※弁当持参
- 18日(月)～ 身体測定の日
- 19日(火) 誕生会
- 20日(水) こどもケアの日
- 21日(木) 剣道 
- 25日(金) 集金日
- 26日(火) 避難訓練
- 29日(金) プールおわりの会
- 30日(土) 保護者会環境整備の日 (たいよう、ほし、にじ) 

おねがい

お盆明けに、園児一人あたりティッシュ2箱を持ってきてください。ご協力をよろしくお願いいたします。

おしらせ

○13日(火)～15日(木)はお盆希望保育です

お盆前(8日あるいは12日)に、全クラス布団の持ち帰りをお願いします。また、日ごろ着ている衣類のサイズや持ち物全ての名前の確認をお願いします。

○保護者会環境整備について

8月30日(土)は保護者会環境整備の日です。今回は、たいようぐみ・ほしぐみ・にじぐみの保護者の方と前回欠席された方が対象です。ご協力をお願いいたします。

前回は今回も参加が難しい方は、園児1人あたりティッシュ2箱と雑巾2枚を持って来てください。ご協力よろしくお願いいたします。

9月の主な予定

- 5日(金)～6日(土) 朝 たいようぐみお泊りお保育
- 10日(水)～12日(金) 二中職場体験
- 17日(水)～19日(金) 一中職場体験
- 29日(月) 内科検診 12:30～
- 30日(火) 神楽鑑賞会(保護者の方も参加できます)

図書貸し出しについてのお願い

保育園から図書館の絵本の貸し出しを行っておりますが、時々、絵本のページが破れたまま返却されていたり、破れたページをセロハンテープで直して返される方がいらしゃいます。セロハンテープで直すとテープの劣化、変色で本が傷みます。絵本の直しは図書館のプロの方が専用の道具を使って修理されますので、ページが破損してしまった場合はご自身の判断で直さずに、保育園の職員までその旨をお伝えください。また、返される前に、再度保護者の方の目で絵本の状態を確認していただきますようお願いいたします。

<発熱はウイルスや細菌と闘っている証拠>

小児科を受診される理由で一番多いのが「発熱」です。

ママやパパを不安にさせる子どもの症状の代表格ですが、実は発熱はワルモノではなく、病気の原因(ウイルスや細菌)と闘うための防衛反応なんです。人間が快適に活動できる体温は、実はウイルスや細菌にとっても居心地の良い温度で、体温が上がるとウイルスや細菌も活動しにくくなるのです。ウイルスや細菌と闘うために、脳が指令を出して体温を上げているのだということがわかれば、心が少し楽になるのではないかと思います。また、子どもは熱が40度を超えることもあります。それは子どもが体温の調節機能が未熟だからで、成長するにつれて高熱は出さなくなります。また、解熱剤で病気は治りません。解熱剤の効果が出て熱が下がっている間は身体が楽になって水分や睡眠が取れるので、それを期待して使うのは良いと思います。しかし、一時的に熱は下がっても病気は治っていないので、安静にしてゆっくり過ごし、水分をしっかり摂りましょう。そして子どもが気持ちよく過ごせるように生活行動を心がけることが大切です。

- ・エアコンは直接風が当たらないように。
- ・熱の上がり始めは寒いので保温に心がけ、熱が上がり切ったら保温は終了して氷枕や冷却ジェルシートなどで冷やす。
- ・食事の時間にこだわらず、こまめに水分をとる
- ・食欲がない時はゼリーやフルーツなど子どもが欲しがるものを与える。(病気が治ったら元の食事に戻します)

子どもは急に高熱を出したり、症状がひどくなったりしますが、元気になるのも早いものです。子どもはスゴイ回復力を持っていますから安心して子どものケアにあたってください。

参考：「子育てハッピーアドバイス 小児科の巻」

子どもさんの病気に一番効くのはおうちの人の愛のビタミンですね。子どもさんの熱の時はぐずって「抱っこー」の時もありますが、そう長くは続かないので十分甘えさせてあげましょう。

園長 筆



